

# Weekly Bulletin 2021-2022



RI会長  
シェカール・メータ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

## 静岡東ロータリークラブ

会長/川崎依子 幹事/長田きみの

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長  
川崎依子

第 2991回例会 令和3年 7月 8日

《司会》長田きみの君

《合唱》「我等の生業」

《ソングリーダー》 由利 浩志 君

《ゲスト》 国際ロータリー第2620地区

2021-2022 年度静岡第3グループ

ガバナー補佐 八木 伸廣 様

ガバナー補佐事務局 望月 重伸 様

《ビジター》 無し

《本日のお祝い》

・お誕生日

7月 9日 酒井 博康 君

7月14日 青島 隆晴 君

7月16日 肥田 隆輔 君

7月20日 鶴見 展哉 君

・結婚記念日

7月10日 大脇 順実 君

《会長挨拶要旨》 川崎 依子会長 (山下副会長代読)

本日は国際ロータリー第2620地区2020~2021年度第3グループガバナー補佐の八木伸廣様と事務局の望月重伸様にお越しいただきました。

八木ガバナー補佐には zoom での研修や、実際会長幹事会で何度かお会いしていますがとても穏やかな語り口で、ダンディで、お迎えするのを楽しみにしておりました。後ほど卓話をいただきますのでよろしくお願いいたします。また、例会後の13時半からクラブ協議会があり、各委員会の委員長から今年度の方針などをお聞きいただく予定です。

さて、静岡県熱海市伊豆山地区で3日に発生した土石流は轟音(ごうおん)を上げながら多数の家屋や車をのみ込み、一部が海にまで流れ込みました。茶色く濁った土砂が道路を埋め尽くし、休日の観光地は一変してしまいました。

私は2年ほど前に熱海の海上花火を観るためにリゾートピア熱海に宿泊し、そこから少し離れた急な坂道の上にある

駐車場に車を停めたのですが、今回土石流に巻き込まれた場所のすぐ近くだったことが分かり驚きました。

新型コロナの影響で休館中だった「熱海ニューフジヤホテル」が4日から避難者を受け入れ、7日午前8時現在で住民ら490人が身を寄せています。また、「ホテルニューアカオ」では、熱海市内の福祉施設に入所している要介護者と職員55人を受け入れるなどして観光地だからこそできる支援をしているようです。心からお見舞い申し上げます。

本日は2620地区熱海豪雨災害支援金募金の依頼が来ていますので募金箱を回します。皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

《来賓卓話》 ガバナー補佐 八木 伸廣 様  
ご紹介いただきありがとうございます。朝のテレビ番組で「今日は何の日」という3分程の短い時間ですが、ニュースキャスターが歴史を語ってくれます。

東ロータリークラブさんが創立された1959年はどんな年だったろうかと年表をめくってみましたところ、上皇陛下が美智子さまと結婚され、祝賀パレードは群衆53万人にも上る。プロ野球展覧試合で、巨人軍長嶋茂雄選手がサヨナラホームランを打つ。東海道新幹線起工式、5年の歳



月を要し1964年完成。日米安保条約反対で翌年全学連主流派が国会に突入、多くの負傷者を出したが、条約は締結される。歴史を振り返りながら訪問出来たことに感謝致します。

今年の2月初めに、国際ロータリー会長のテーマが発表になりました。会長はインドのシェカール・メータさんです。テーマの内容は、マイ・ロータリーのニュース・特集記事から拝聴することが出来ますが、そのスピーチに圧倒されました。テーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」で

す。目標は、会員を増やしてロータリーへの参加者基盤を広げよう、そして世界に奉仕して、より大きなインパクトをもたらそうというものです。

その為に、私達ロータリアンの役割は、「もっと行動し、もっと成長しよう」と求めています。「もっと行動し」は奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成長し」は会員を増やすことを意味します。最も重要な課題は会員増強です。世界のロータリーの会員数は120万人ですが、これを来年7月1日までに130万人に増やそうというものです。

その為に、各ロータリアンが新会員1人を入会させよう。シェカール・メータさんは、様々な奉仕活動を通じて、「超我の奉仕」というロータリーの標語に大きな感銘を受け、人々を思いやり分かち合う心の大切さを学び、奉仕とは、自分よりも他の人のことを先に考えること、ロータリアンの奉仕の心構えは、自分より先に人のことを考える心構えを持つこと、奉仕し続けることは、人びとの人生を豊かにしたいという願いから、それは誰かAの人生だけでなく自分の人生も豊かになります。皆さんとともに奉仕し、人生を豊かにしていこうではありませんかと呼び掛けておられます。

本年度の当地区のガバナーは、甲府北ロータリークラブの小林聡一郎さんです。新たな時代を生きるロータリー、そして新たな時代に一歩二歩前に踏み出そうと呼びかけておられます。

クラブに対する要請事項について

1. 従来からの会員増強維持と新たな視線からの会員増強として、若い世代を中心とした新クラブの創設を図ろう。地区全体で現在の会員数 2,800 名台か 3,000 名台の回復を目指そう。
  2. ロータリー奉仕デーを開催しよう。
  3. クラブの中長期の戦略計画をもとに会長年度の行動計画を立て実行しよう。
  4. MyRotary への登録と、ロータリークラブセントラルの使用をしよう。
  5. 各委員会事業の参加と活用及び公共イメージを向上しよう。
  6. RLI の運営定着とクラブでの応用活用
  7. ロータリー財団への寄付と補助金の積極的活用
  8. ロータリー米山記念奨学会への理解と支援
  9. ロータリー賞への挑戦
  10. 地区大会への参加
- なかでも若い世代と中心とした新クラブの創設と、ロータ

リー奉仕デーは新しい取り組みです。特に新クラブの創設は簡単なことではありません。今月、地区会員増強・拡大委員会で再び討議されますが、出来る限り解り易く簡潔に皆さんの信頼と協力が得られるようにする必要があると考えています。奉仕デーについては各クラブの計画を全クラブが知って貰えるよう情報を共有したいと考えています。

なお、インターシティミーティングについて、当初はロータリーデーとして他グループとの合同開催の要請がありましたが、開催するための環境が整っていないこと、その後ロータリー奉仕デーとしてと変更がありましたが、静岡は各グループ単独で開催したいと考えております。

小林ガバナーは2012年より「ロータリー日本100年史」の編纂委員を務められ、ロータリーの友2019年10月号には、刊行に向けて編纂室4名の方の座談会が記載されていますが、そのお一人であります。また2020年1月号には、特集 職業奉仕「温故知新・私の職業奉仕」として小論文が掲載されております。様々なお話をお聞きできるものと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの活動は大きく制約を受けましたが、オンライン会議など新しい形を取り入れ、活動は前に進んでいます。

そして今年度は新たなテーマに取り組んで行かねばなりません。このような時にあっても先人が歩んできた道、歴史からロータリーを学ぶことを忘れずに、時代の変化に対応し変えるべきことは変えていかねばなりません。

そして何よりも私達会員が力を合わせて行動することではないかと考えます。

新年度が始まって間もない大切な日に訪問せざるを得ませんでしたこととお詫びし、またこの一年、貴クラブがますますご発展されることをお祈りして、私の訪問の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

《スマイル報告》

佐橋 徹 君

(八木ガバナー補佐をお迎えしてスマイルします)

佐野 哲一 君

(前回計画発表時のお詫びと同町民新会長にエール)

山川 雅久 君(スマイル徳憑のスマイル)

長谷川 泰 君(スマイル初当番記念スマイル)

肥田 隆輔 君(結婚記念日誕生日合わせて大口スマイル)

鶴見 展哉 君(誕生日祝いの御礼)

青島 隆晴 君(誕生日祝いの御礼)

(会報作成 長谷川 泰)